



完成が待たれる「ふばう」

本法人が経営する白石市にある障害者支援施設「不忘園」の老朽化に伴う新築移転工事にかかる起工式が、平成28年11月4日(金)村田町に本法人が所有する建設地で執り行われました。

「ふばう」起工式を開催

建築工事がいよいよ着工

当団は宮城県および佐藤英雄村田町長をはじめ多数のご来賓と関係者約60名が参列しました。

神事では、設計担当の設計代表が鎌(かま)入れ、森正義会長が鍬(くわ)入れ、建築会社支店長が鋤(すき)入れを行い、関係者が玉ぐしき奉奠し工事の安全と無事を祈りました。

その後、森会長から「東日本大震災等で当初の計画より遅れましたが、皆が待ち望んだ施設の着工を迎えたことに感謝する」との挨拶がありました。

この新築移転工事は、不忘園が

宮城県から移譲された平成23年より法人が計画してきたもので、仙南地区の障害者支援の拠点としてべき施設と考えています。

東日本大震災の影響で当初の希



第105号

発行所

社会福祉法人
宮城県身体障害者
福祉協会会
発行人/森 正義
宮城県仙台市宮城野区
幸町四丁目6-2
TEL/291-1522
印刷所/第二啓生園

望より遅れての着手でしたが、平成26年に建設地として村田町沼辺一本杉に1万7763坪の土地を自己資金で購入。建設委員会を開設して基本構想をまとめた後に、設計も同年より進めてきました。建築工事の競争入札は、東日本大震災後の建築費の高騰の影響を受けて2回の不落。ようやく随意契約の締結に至るなど、法人の夢と苦労がつまっています。

建物は災害時の避難を考慮して総平屋造りにするとともに、蔵の町村田町に馴染む外観デザインにしました。また、利用者の居室はプライバシーを尊重した個室へと転換するとともに、大規模施設であつても家庭的な雰囲気の生活を尊重するためにユーブル制を導入しました。併せて、回廊によつて職員にとつても無駄のない動線が確保できるようにする他、環境への配慮と経費節減を考え、ソーラー発電によるオール電化を導入しています。

起工式後の第一段階工事である杭打ちは、近隣住民のご理解と関係者のご協力を得て順調に進み、年末には終了しました。完成引渡しは平成29年12月予定です。



祈りを込めて

その他(解体費用)等は今後の協議事項です。

◎事業の規模
○施設規模
定員60名
シヨートステイ5室
鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 平屋建て
延べ床面積4306m ²
○基本・実施設計
株式会社みちのく設計
○施工
大木建設・サイト工業建設特定建設工事共同企業体
○総事業費(現在の見込み)
総額 約21億9千万円
県補助金(設計費、建設費他)
約17億7千万円
自己資金(建設用地、他)
約3億7千万円

第4回 宮城県障害者パークゴルフ交流大会

(初のホールインワンも達成)



萩原達雄村長のご挨拶



市町村協会会員の皆さんに多数ご参加いただきました。

今では開催を心待ちにしていました。だいてる本交流大会も4回目を迎えて、平成28年10月6日(木)に今年も「あおひら万葉パークゴルフ場」のご支援で盛会に開催いたしました。

当日は、台風通過直後ということもあり、お天気が心配されましたが予定通りに開催され、66名のご参加をいただきました。

大会開催にあたっては大衡村パーゴルフ協会と宮城県障害者スポーツ指導者協議会のご協力をいただき、開会式では萩原達雄村長、伊藤俊幸副村長よりご挨拶をいただきました。

時折、強風が舞う中ではありますでしたが、陽射しとグランドコンディションは上々で、本大会史上初のホールインワンが達成されるな

ど、白熱した大会となりました。年々、レベルアップを実感するこの交流大会ですが、「みんなが乐しく」これからも原点にしてまいります。

次回も多くの方のご参加をお待ちしております。

第62回 宮城県社会福祉大会を開催

第31回 「障害者による書道・写真
全国コンテスト」
●宮城県大会



村井名誉会長のご挨拶

62回目を迎えた標記大会を、本法人を含む福祉関係7団体の主催によって平成28年11月1日(火)仙台サンプラザホールを会場に開催いたしました。

第一部式典では社会福祉に関するご功績に対し、宮城県知事および主催4団体長から表彰状と感謝状が計1444名、192団体の多数の方々に授与されました。

第一部の記念講演では、「がんばらない」けど「あきらめない」の題で、医師で作家の鎌田實氏の巧妙な話術と深層心理の講演に参加者一同が感銘を受けました。

障害者の文化・芸術活動の促進と、障害者週間における啓発活動の一環として標記大会が開催され、87点の作品が集まりました。(書道部門71点、写真部門16点)宮城県大会優秀作品11点を全国コンテストに出品したところ、書道部門の1作品が入賞されました。おめでとうございます。

また、左記の日程で県内2ヶ所にて応募作品展を開催し、多くの方にご覧いただきました。

多数のご応募をいただき誠にありがとうございました。

◎応募作品展の開催状況

○栗原文化会館

11月25日(金)～11月30日(水)

○宮城県庁

12月5日(月)～12月9日(金)

全国コンテスト 銅賞

「感謝」

佐々木一重様(大崎市)

感謝

一重

第16回

全国障害者スポーツ大会

2016希望郷いわて大会

競技	市町村	選手氏名	種目	順位
陸上	松島町	佐藤圭	50m	1
			ビーンバック投	2
	亘理町	佐藤璃奈	ソフトボール投	1
			走幅跳	3
	涌谷町	佐藤優也	砲丸投	1
			ジャベリックスロー	2
	柴田町	佐々木琢磨	100m	1
水泳	大崎市	村野雄志	砲丸投	4
			50m	2
	栗原市	鈴木満美子	ソフトボール投	1
			砲丸投	1
	登米市	日野大輔	50m	1
			走高跳	2
	川崎町	小山弘子	50m自由形	2
卓球	松島町	内海幸	25mバタフライ	1
	大崎市	池田正	一般卓球	1
フライングディスク	美里町	石川芳民	ディスリート5	1
			ディスタンス	1
	大崎市	早坂勝一	ディスリート5	5
			ディスタンス	3
	大崎市	武田弘道	ディスリート5	1
			ディスタンス	3
	村田町	近江翼	ディスリート5	4
			ディスタンス	8
	大和町	高橋公太	ディスリート5	3
			ディスタンス	6

「広げよう 感動。伝えよう 感謝。」のスローガンのもと、平成28年10月22日(土)～24日(月)の3日間にわたり、全国障害者スポーツ大会がお隣りの岩手県において開催されました。

朝夕の寒さが厳しく感じられましたが、宮城県選手団でのメダル総数は合計44個、その内身体の選手は22個獲得できました。

今年はオープン競技の参加チームもありました。卓球バレーで参加した宮城・気仙沼チームは交流戦トーナメントにて1位、ゲートボールで参加した宮城ゲートボール交流会は5位入賞を果たしました。今後が期待されます。

応援して下さいました皆様、ありがとうございました！

(敬称略)



選手団集合！



大会を終えて県庁での報告



新レパートリーに挑戦！

ました。

漬物の試食も兼ねた昼食後は、各地区の状況報告や来年度の研修への意見が交わされました。

今年は4市町村協会19名が参加されて、仕込んだばかりの漬物と新しいレパートリーをお土産にしました。

女性会員研修会

「漬物づくり」を開催

女性会員を対象に毎年開催している研修会を、平成28年12月5日(月)に宮城県障害者福祉センターで開催しました。

この研修は、一泊と日帰りを隔年ごとに交互に開催しているものです。今年は日帰り研修の年にあたっており、会場の福祉センターの出前講座を利用して「漬物づくり」をおこないました。

第23回 東北・北海道ブロック障害者相談員研修会 を開催

宮城県身体障害者福祉大会の開催と並ぶ本年度の2大事業と位置づけていた標記研修会を、本法人が主管して平成28年11月17日(木)に開催いたしました。

当団は県外58名を含む145名の参加者が、紅葉の美しい晩秋の秋保温泉岩沼屋に集い、貴重な学びをいたしました。

開会では宮城県知事よりご祝辞をいただき、続く基調講演1では、厚生労働省社会・援護局・障害保健福祉部・障害福祉課・地域生活支援推進室・室長補佐小林靖氏から「高齢障害者のこれからと改正障害者総合支援法について」という題で講演をいただきました。

続く基調講演では、「障害者福祉の現状と課題」と題して日本身体障害者団体連合会 会長の阿部一彦氏に講演をいただきました。これらの講演を基に続くログラムの「意見交換」では、本会の会長であり宮城県障害者相談員連絡協議会の森正義会長が進行を務めて、障害者相談員制度50年と『これから』というテーマで活発な意見交換を交わしました。



見た目以上にハードな踊りでした



記念講演の厚労省 小林氏

社会福祉法改正による 組織のガバナンスの強化

前号に続き、社会福祉法（旧社会福祉事業法）制定から65年を経た改正に関する記します。

改正目的は、社会福祉法人の「公益性・非営利性を確保する観点が

「制度を原道」
国民に效かず、説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する「もづく」三法例は三通りだけ。

1. 経営組織のガバナンスの強化
2. 事業運営の透明性の向上

4. 地域における公益的な取組を実施する責務の規定

5. 行政の関与の在り方

会福祉法人ですので、この改正の対象です。初めに本法人の所轄が

宮城県から仙台市に移管しました。次に、法人の定款を全面改定する必要があり、理事会の議決を経た。

て定款変更作業を進めています。
さらに、前述1.の事項として、

これまでには諮問機関であつた評議員会が、4月からは議決機関とな

りあります。併せて、理事、評議員の定数を見直すことにしております。
今後もお知らせいたします。

森会長が

平成28年12月1日付で東北・北海道ブロック選出の日身連副会長に就任いたしました。

熊本地震への支援金

本会会員の皆様にもご協力をいただき支援金ですが、自身連から第1次支援金1000万円を熊本県身障者福祉団体連合会にお届けいたしました。

29年度 身障福祉大会を石巻市で

第31回の大会は左記の開催に向
けて準備をおこなっています。
多くのご参加をお待ちしてます。
○日時：平成29年7月7日(金)
○会場：石巻市遊楽館
((もれびの峰の丘
遊楽館)

第62回 日本身体障害者福祉大会
（ぎふ清流大会） 参加ツアー募集

標記大会の参加を兼ねたツアーノの案内を協会事務局に送付いたしました。多数ご参加ください。

各お問合せは県協会事務局へ